

# 学校長の挨拶

千曲市立更級小学校長  
浅井 かよ子

更級小学校は、明治6年に羽尾村旧堂を仮校舎として教授を開始し、翌年明治7年に、羽尾村・須坂村・若宮村の3つの村の申合組合が、現在地(羽尾1864番地)に開校した鼎立(ていりつ)学校を前身としています。以後、明治・大正・昭和・平成と140年以上にわたって数多くの人材を輩出しています。



青空の下の明るい昇降口

平成16年11月に建て替えられた現在校舎は、教室や廊下、階段など校舎全体に木目が美しく整えられた木材がふんだんに使われています。特に、2階までの高い吹き抜けの昇降口ホールが特徴です。また、千曲市のシンボルの一つ冠着山(姨捨山)を見ることができます。

自然豊かで、美しく整った学校環境のもと、更級小学校の子どもたちは、毎日楽しく元気に生活しております。

## 学校教育目標

**「目を上げ、手を組み、たくましく進む子」**

この目標は、昭和45年に明治以来の木造校舎から鉄筋コンクリートの校舎に改築されたことを記念して建立された、笹村草家人作『騎馬戦の像』に由来しています。玄関の東側に建つこの像は、校舎正面にそびえる冠着山に正対し、真っ直ぐな眼差しを遙か冠着山の山頂に向けています。そのりりしい眼差し、友と手を組み合って歩む姿に、更級の子どもの理想の姿を重ね、「目標に向かって、協力し たくましく生きる子ども」の育成を、本校の教育目標としています。



冠着山を仰ぎ見る「騎馬戦の像」



### 《重点目標》

- わかったことをもとに、  
さらに考えよう！
  
- 自分から、相手に確かに伝えよう！

桜の便りが各地から届く、うれしい季節を迎えました。さまざまな新しい出会いや出発と重なり桜の花への思いは、格別です。

桜の木は、花が咲くまで他の木と混じっていて、一見したところでは、どこに桜の木があるのかわからないことがあります。しかし、ひとたび花が咲けば「ここに桜の木あり」と、その存在感を際立たせます。

日ごろは、あまり目立たないけれど、何かの折にその人の個性が発揮されたり、その人の持つ個性発揮されたり、その人の良さが目立ったりすることがあります。そのようなときも「桜は花にあらわれる」と言い、これがこの言葉の本格的な意味でもあるそうです。

年度末から年度初めにかけての移動の時期には、人の存在感が強まります。そして、一人一人がとても大事な位置を占めていることがわかります。これもまた、「桜は花にあらわれる」ということでしょう。

ここ信濃路には、例年になく早い春が訪れました。4月5日（木）に行われた入学式は、満開に咲いたソメイヨシノが、子どもたちを出迎えてくれました。平成30年度に、この更級小学校で、155名の子どもたちと23名の先生方に出会えたことに感謝し、その意味を大事にして、更級小学校の教育を創造的に進めていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

平成30年4月 千曲市立更級小学校長

浅井 かよ子